

## 九州情報大学教育課程表（カリキュラム）のナンバリング（科目番号付け）について

学生生活を送るにあたって、学生の皆さんが必ずしなければいけないことの一つに履修登録（学生が授業で学ぶ科目を届け出ること）があります。この履修登録の時に、自分がどの科目を登録したらよいか、判断の材料にさせていただきたいのが科目のナンバリング（科目番号付け）です。

ナンバリングは3つのゾーンに分かれており、それぞれを「-」（ハイフン）で繋いでいきます。各ゾーンは左から順に「科目情報」、「開講情報」、「履修情報」を表します。それぞれ、「科目情報」は4桁、「開講情報」は4桁、「履修情報」は3~4桁で構成されており、ナンバリング変数を以下の様にしていきます。

ナンバリング変数  $S_1S_2S_3S_4-C_1C_2C_3C_4-T_1T_2T_3T_4$

科目情報

開講情報

履修情報

$S_1$  は科目を開設する教育課程を表します。 $S_2S_3$  は科目群、 $S_2$  はカリキュラム表の大分類、 $S_3$  は中分類ならびに小分類を表します。 $S_4$  は科目水準を表します。

$C_1C_2C_3$  は  $S_1$  の教育課程内で3桁の連番（501~999）を付し、科目名のヨミガナ昇順とします。両学科や他コースに配置される同一科目名は同じ番号とします。 $C_4$  は受講に際しての前提条件（前提科目）を表し、前提条件が無ければ0、有れば1以上の値とします。前提条件を備えた一連の科目は、ヨミガナに関わらず  $C_1C_2C_3$  を同一とし、履修の順番を  $C_4$  で示しています。

$T_1$  は開講学年、 $T_2$  は単位数、 $T_3$  は選択・必修科目を表します。 $T_4$  は教職科目のうち、別表Ⅲ(1)ならびに別表Ⅲ(2)の教科に関する科目等を表します。

具体的なコード表は3ページ以降に示します。

【ナンバリングの例】

ナンバリング変数  $S_1S_2S_3S_4-C_1C_2C_3C_4-T_1T_2T_3T_4$

教育課程

科目群

科目水準

-

連番

前提条件

-

開講学年

単位数

選択・必修

教職教科

(必修)

それではナンバリングについて、「建学の精神と人生」という科目を例にして説明しましょう。この科目の番号とその意味は次の通りです。

建学の精神と人生	1	G	G	N	-5470-	1	2	C
	:	:	:	:	⏟	:	:	:
授業開設学部	①	②	水	合	科	履修条件	開講学年	単位数
1	—	—	—			0	—	—
は	G	G	N			は	は	1
経営情報学部	基礎	総合	指定	無	し	条件	1	の
科目	科目	科目	科目	科目	科目	無	年次	科目
	目	目				し	の	目
							科目	目
							目	

このようにナンバリングは、皆さんが履修の時に必要なその科目に関する様々な情報が表示されています。たとえば科目の分類（基礎総合科目、専門教育科目など）、科目の水準（入門・基礎、応用・発展）、履修条件（授業によっては、関連科目を履修または合格を履修条件にする科目あり）、開講学年、単位数、選択・必修の区別などです。

本学の授業科目は、1年次から4年次まで段階を追って入門基礎から応用発展まで追って無理なく学ぶことができるように編成されています。皆さんは、自分の学年、単位の取得状況、興味関心、将来の進路など考慮したうえで、科目の履修登録をしてください。その際はそれぞれの科目のナンバリングを参考にしましょう。また、科目の内容についてきちんと理解したうえで履修登録をすることが肝心です。ですからシラバスをしっかりと読むことはもちろんですが、わからないところは担当教員や教務課に聞いてみましょう。

ナンバリングは学科、分類、開講年次、単位数などの情報に従って、11桁の番号で表します。ただし、教職科目については12桁としています。

①授業開設学部 S<sub>1</sub>

学部	S <sub>1</sub>
経営情報学部	1
教職	2
大学院 修士課程	3
大学院 博士課程	4

② 科目群 1 S<sub>2</sub> 、 ③ 科目群 2 S<sub>3</sub>

学士課程

科目群 1 (大分類)	S <sub>2</sub>	科目群 2 (中 小・分類)	S <sub>3</sub>
基礎総合	G (General)	総合教養	G (General)
		語学	L (Language)
		実践力養成・キャリア開発	C (Career)
専門基礎	B (Basic)	経営・会計系	M (Management)
		情報系	I (Information)
		基礎ゼミ	S (Seminar)
専門発展	A (Advanced)	経営・会計系	M (Management)
		情報系	I (Information)
		専門ゼミ I	S (Seminar)
専門応用	E (Expand)	経営系	M (Management)
		会計系	A (Accounting)
		国際ビジネス系	G (Global)
		ネットワーク系	N (Network)
		データサイエンス系	D (Data science)
		専門ゼミ II	S (Seminar)
特別講義	S (Special)	経営系	M
		会計系	A
		情報系	I
		総合教養系	G
		語学系	L
		実践力養成・キャリア系	C

教職課程

科目群 1 (大分類)	<b>S<sub>2</sub></b>	科目群 2 (中小・分類)	<b>S<sub>3</sub></b>
教職課程	<b>T (Teacher)</b>	教職に関する科目	<b>T (Teacher)</b>

大学院 (修士課程、博士課程)

科目群 1 (大分類)	<b>S<sub>2</sub></b>	科目群 2 (中小・分類)	<b>S<sub>3</sub></b>
修士課程	<b>M (Master)</b>	経営	<b>M (Management)</b>
		会計	<b>A (Accounting)</b>
		税法	<b>T (Tax)</b>
		情報	<b>I (Information)</b>
		M 演習	<b>S (Seminar)</b>
博士課程	<b>D (Doctor)</b>	経営	<b>M</b>
		会計	<b>A</b>
		情報	<b>I</b>
		D 演習	<b>S</b>

④ 科目水準 S<sub>4</sub>

水準	<b>S<sub>4</sub></b>	
基礎・入門	B	<b>Basic</b>
応用・発展	A	<b>Applied・Advanced</b>
無し	N	<b>Neutral</b>

⑤⑥⑦ 連番 C<sub>1</sub> C<sub>2</sub> C<sub>3</sub>

科目群内でアイウエオ順の連番 (3桁、501~999)

開講学年	C <sub>1</sub> C <sub>2</sub> C <sub>3</sub>
学部	501~999
教職課程	501~999
修士課程	501~999
博士課程	501~999

※ 連番を2グループに分け、001~499 と 501~999 はカリキュラム変更によって、交互に使用する。

⑧ 前提条件 (履修条件) C<sub>4</sub>

履修条件 内容	<b>C<sub>4</sub></b>
履修条件なし	0
履修条件あり	1以上の数 1は最初に履修 2は1の後に履修 n+1はnの後に履修

⑨ 開講学年 T<sub>1</sub>

開講学年	T <sub>1</sub>
1年生	1
2年生	2
3年生	3
4年生	4
1・2	X
1～4	Y
3・4	Z
2・3	U
1～3	V
2～4	W

⑩ 単位数 T<sub>2</sub>

単位数	T <sub>2</sub>
1単位	1
2単位	2
4単位	4
6単位	6
2～4 (特別講義)	W
1～4 (特別講義)	Y

⑪ 必修・選択 T<sub>3</sub>

選択制限	T <sub>3</sub>	
必修科目	C	Compulsory subject
選択科目	E	Elective subject
選択必修	D	

⑫ 教職 T<sub>4</sub>

教科に関する科目	T <sub>4</sub>	
必修科目	T	Teaching subject
選択科目	S	teaching subject of Selection